

父 ニューイヤーズデイ
メス 鹿毛 2025年4月17日生まれ コスモヴェューファーム



*ニューイヤーズデイ
New Year's Day (USA)
鹿毛 2011年

レッドジゼルの25
メス 鹿毛 2025.4.17

レッドジゼル
鹿毛 2010年

ストリート クライ Street Cry (IRE) 黒鹿毛 1998年	マキアヴェリアン Machiavellian	Mr. Prospector Coup de Folie
ジャストホイッスルディキシー Justwhistledixie (USA) 黒鹿毛 2006年	ヘレン ストリート Helen Street	Troy Waterway
アグネスタキオン 栗毛 1998年	ディキシー ユニオン Dixie Union	Dixieland Band She's Tops
	ジェネラル ジーン General Jeanne	Honour and Glory Ahpoo Hel
	*サンデーサイレンス Sunday Silence	Halo Wishing Well
	アグネスフローラ	*ロイヤルスキー アグネスレディー
*スタイルリストック Stylelistick (USA) 黒鹿毛 1999年	ストーム キャット Storm Cat	Storm Bird Terlingua
	マグニフィセント スタイル Magnificent Style	Silver Hawk Mia Karina

Halo 4D×5S, Northern Dancer 5S×5D

母 系

母レッドジゼル(10 アグネスタキオン) 3勝, 西郷特別(芝1800m), 矢車賞(芝2000m)。本馬は第7仔。産駒
レッドアダン(17 騊 鹿 ルーラーシップ) 1勝, 石川公4勝
ルージュグラーズ(18 牝 鹿 *ハービンジャー) 1勝
クラシックステップ(19 牡 鹿 モーリス) 1勝
ジーティームソウ(21 牡 鹿 エピファネイア) 3勝, ⑩
リュウノパイレーツ(24 牡 鹿 レイデオロ) 北海道公入着, ⑩
祖母 *スタイルリストック Stylelistick(99 Storm Cat) 米国産, 北米4勝, Green River S-L, Appalachian S-L, リグレット S-G3 3着, ヴァリー ヴュー S-G3 4着。産駒
レッドアンシェル(牡 マンハッタンカフェ) サマースプリントシリーズチャンピオン, 6勝, 北九州記念-G3, 同5着, C B C賞-G3, 同3着, リゲル S-L, もみじ S-OP, 彦根 S, アーリントン C-G3 2着, 京都金杯-G3 3着, NHKマイル C-G1 4着, 富士 S-G3 4着
レッドアルティスタ(騊 ステイゴールド) 3勝, 唐戸特別, 筑後川特別
サルルナ Saraluna(牝 Unbridled's Song) 北米3戦。産駒
サルマナ Salmama(牝 Nathaniel) 仏2勝, リュテス賞-G3 4着
レッドエンヴィー(牡 ジャスタウェイ) 2勝
レッドイリーゼ(牝 ハーツクライ) 2勝。産駒
ティティナ(牝 モーリス) 1勝, ⑩
レッドフランカー(騊 リアルインパクト) 2勝
曾祖母 マグニフィセント スタイル Magnificent Style(93 Silver Hawk) 英2勝, ムジドラ S-G3, Pretty Polly S-L 3着。最優秀繁殖牝馬。産駒
ナサニエル Nathaniel: 英4勝, キング ジョージ六世&クイーン エリザベス S-G1, エクリプス S-G1。仏チャンピオンサイアー
グレイト ヘヴンズ Great Heavens: 英愛4勝, 愛オークス-G1, ランカシャー オークス-G2, Lord Weinstock Memorial S-L
プレイフル アクト Playful Act: 英4勝, フィリーズ マイル-G1
エコーズ イン エタニティ Echoes In Eternity: 英4勝, サン チャリオット S-G2, パーク ヒル S-G2, , John Musker S-L

母の父

アグネスタキオン
千歳産、4戦全勝、皐月賞-JPN1(2000m)、弥生賞-JPN2(2000m)。総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒 ディープスカイ(最優秀3歳牡馬、ダービー-JPN1)、ダイワスカレット(最優秀3歳牝馬、有馬記念-G1)。母の父としてノンコノユメ(フェブラリーS-G1)、ワイドファラオ(かしわ記念-JPN1)、アクティブミノル(セントウルS-G2)、カラクレナイ(フィリーズレビュー-G2)、ジュヌエコール(デイリー杯2歳S-G2)を出す



CHECK POINT

母を繁殖牝馬セリで購入した時にお腹の中にいた仔です。現在3勝している半兄のジーティームソウが3歳末勝利で勝ちきれなかったのが2024年なので、その成績も見て手放したんだと思います。手放した途端に子供たちが活躍するのは、この業界の都市伝説みたいなものですね。本馬はあまり期待していませんでしたが、思いのほか良い馬で、こういうお腹の中に入っていた仔の当たりの例としては、ウインリパティ5勝、ウインスノーライト3勝、ウイントワイライト4勝(6月10日現在)等がいます。身体は小さめで、脚さばきからダート馬だと思いますが、歩きが速く踏み込みも強いので短距離で末永くコツコツと活躍すると思います。

